

### 研究会の視点

- 子どもが1時間の学習活動の意味や目的を(総合:学級として、生活:自分なりに)とらえることができていたか
- 教師が、子どもの発言や活動の姿をみとり、「深める」ための適切な「出」を判断することができていたか
- 今後の学習の展開に向けて、単元構想・小単元構想の妥当性
- 一時間の授業の基本となる学習のルールや教師の構えについて(話し合いのルール、発言の仕方、朱書き、場の設定、時間の見通し等)

### 2年2組(花村級) 「ながれぼし マイやさい」

#### 【担任の意図】

夏野菜を育てる中で、今の生育状況を伝え合い、「自分の野菜にもっと思いをもてるようになってほしい」という願いを含めて、板書は「嬉しさ」「疑問」「驚き」など子どもたちが発言のなかで分けられるようにした。

#### 【授業の様子】

友達の育てている野菜の様子を聞き合うことを通して、自分の育てている野菜と比べたり、友達の新たな発見に驚いたりしていた。子どもによって、成長の度合いに差があるため、観察の時間になかなか自分の野菜に向き合えない子どもがいた。



### 4年1組(遠藤級) 「仲間をふやそう!横浜メダカ」

#### 【担任の意図】

水槽で育てていく生き物について情報収集したことをもとに話し合う活動を通して、これからの活動や育てていく生き物についての意味を捉え、今後の取組への意欲を高める。

#### 【授業の様子】

育てる生き物を決めるために、一人一人がそれぞれの生き物について調査し、生き物のためになるか、自分たちの学びになるかという条件のもとに友達の考えも取り入れながら考えた。マグネットを用いて自分の立場を表したが、板書の情報だけでは、明確な決定には至らなかった。



### 6年1組(遠山級) 「とべMAP!でフォトラリー」

#### 【担任の意図】

戸部のまちの良さを生かしたフォトラリーにするためには、どのような写真がいいのか、撮ってきた写真をもとに良いところ、課題、そのためにはどのようなことをこれからしていけばよいかを話し合う。

#### 【授業の様子】

今までまちに出て撮ってきた写真をPMIで振り返った。だんだんと視点を広げて写真を撮れるようになったが、戸部のまちの良さが出し切れていないということに気付いた。ウェビングでまちの良さについて考えたが、「よさ」の捉えが抽象的になってしまい、せっかく見つけてきた対象がぼやけてしまった。写真を取り上げて具体的な対象から感じ取ったことを深めていく展開が良かったと考えられる。



### 講師の先生から

- ・事実に基づいたしっかりとした観察から、子ども達の思いが生まれ世話の仕方が変わる。(生活)
- ・1単位時間の中の「つかむ」はテンポよく。「つかむ」で子ども同士の意見が絡むことが大事(総合)
- ・今日はこれがやりたいのだという目的意識をもつこと。子どもが熱くなる手だてを。(総合)
- ・単元の流れは、主体性を大切に。子どもがごく自然に考えることをつないでいくように。(総合)